

「第4期 美しいものを発見する生活」(11月~12月)

「感謝をよろこぶ子どもたち」



早いもので、暑かった陽射しも和らぎ、瞬く間に11月に入り、年度末に向かうクリスマスやおせち料理のコマーシャル等が出始めています。

山々ではようやく色とりどりの紅葉が賑わいを見せ始め、観光地では家族連れやカップルが各地の話題として映し出されています。

園庭のさくらの葉も色付きながら風に飛ばされていますが、秋の味覚の栗や柿、乙女リンゴもクッキングコーナーではジャム作りから子ども達の味として心につながる体験へと広がっています。園では「いつもありがとう!」の感謝の言葉がキーワードです!

◎第4期は子どもの基本的な生活習慣が園での体験を通して、
確実に身に付いていく大切な時期です!

子どもにとって、家庭で教えてもらった「基本的な体験・・・穏やかな気持ちで他の人と生活していくための『温かなことば』の大切さや基本的な生活習慣を基とした『自分で取り組む着替えやステキに食べる食べ方』が園生活の繰り返しの中から実感としてたくさんの楽しい体験として育ってきています。

※お願い・・・ご家庭ではあらためてわが子の食事の姿(食べる時の前向きな座り方・おはしの持ち方・スープ碗の持ち方等々)の大人に向かうためのていねいな姿を教えてくださいたいと思います。

◎異年齢での生活から「お互いの信頼感」から、
尊敬や良い姿を真似ていく体験が身に付いていきます。

穏やかな空気が子どもの心を穏やかにしてくれます・・・慌ただしい生活からは「穏やかな気持ち」や「他の人と一緒に楽しい気持ち」は育ちません。幼い年齢から「他を攻撃する気持ち」が前面に出てしまい「素直な自分の気持ち」の大切さや「ありがとうの感謝の気持ち」は身に付いていきません。

◎「こどものもり」の子ども達は、お互いの信頼感を日々の生活体験から身に付けています。



見学のお客様方からは「この園に入ると何故かホッとします!」との感想をいただきます。

木の温もりや子ども達一人ひとりが「自分の意志で生活を選び、取り組んでいる姿に驚きと共感」をいただいています。



年末の忙しさに流されずに、

「わが子が社会で必要とされる大人」を目指す基礎基本の

「子どもらしい素直で好奇心溢れる姿」を願いながらご家庭でも応援して
いただければと願っています。

11月9日(土)は父母の会主催のバザーの日です!

ご家族やお友達やたくさんの方々と一緒ににお出で下さい!お待ちしております!